



耳
聲

と
い
う
こ
と

あ
れ

こ
れ
は
こ
の
こ
え
の
こ
と

Koikogare cyborg to todokanai!
One punch-man unofficial
Genos x Saitama
Presented by 180p



そうですね
予報では雨でしたが

雪
降りそうだなあ

ジェノスー

もう出るぞー

はいっ



いいですね



あまたあの銭湯
行かない？
ちよつと前に
行ったじゃん



空いてて
いいよなあ
あそこ

明日は15時から
タイムセールが
ありますから
その前に行きま
しょうか



突然すみません
あなたが好きです



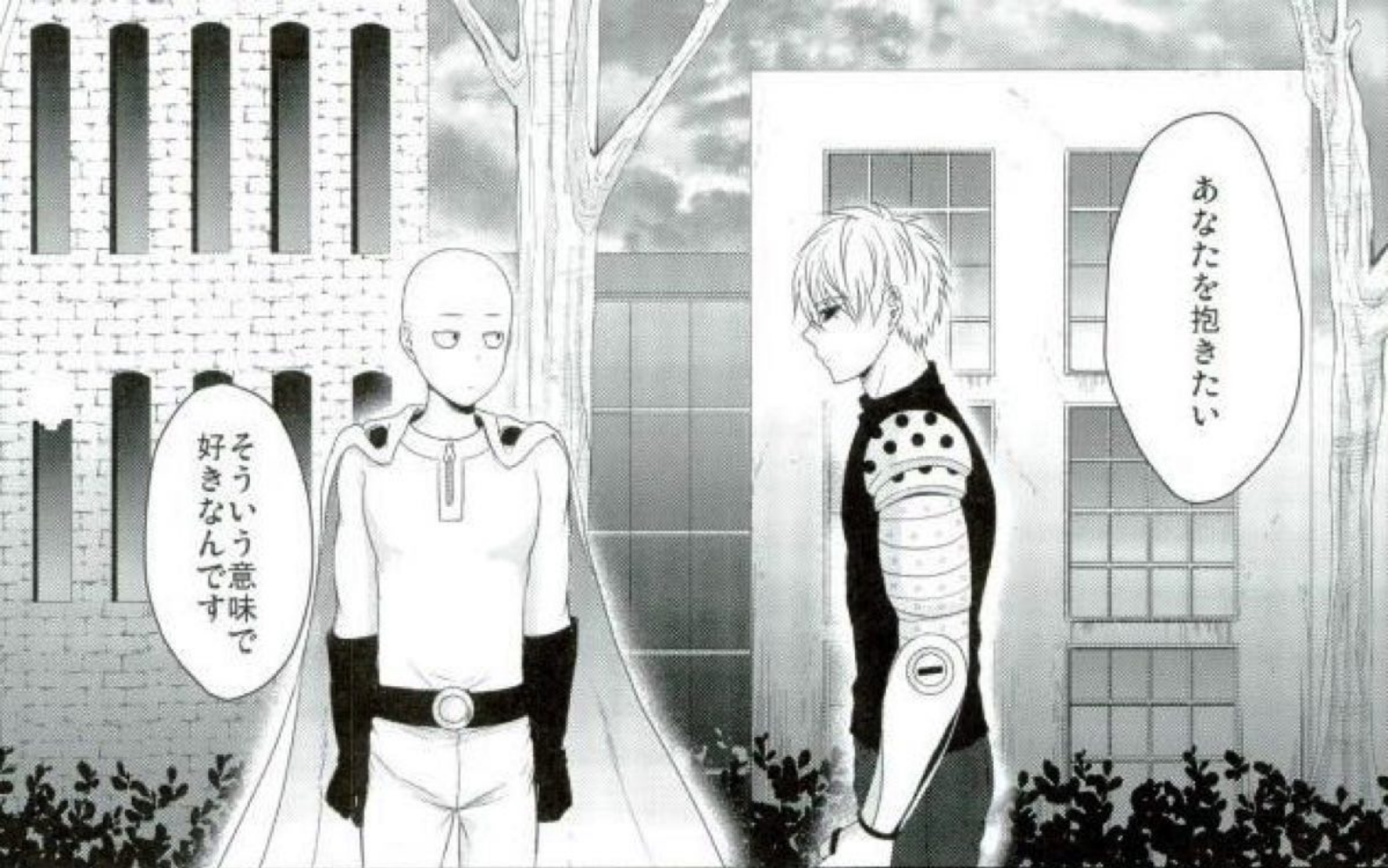
違います

本当に突然だな
俺もジェノスの
こと好きだぞー



先生

んー？



そういう意味で
好きなんです

あなたを抱きたい



……
気付いてましたよね

あなたは
不器用だけど

人の感情に
疎いというわけ
ではない

……お前
選べよ

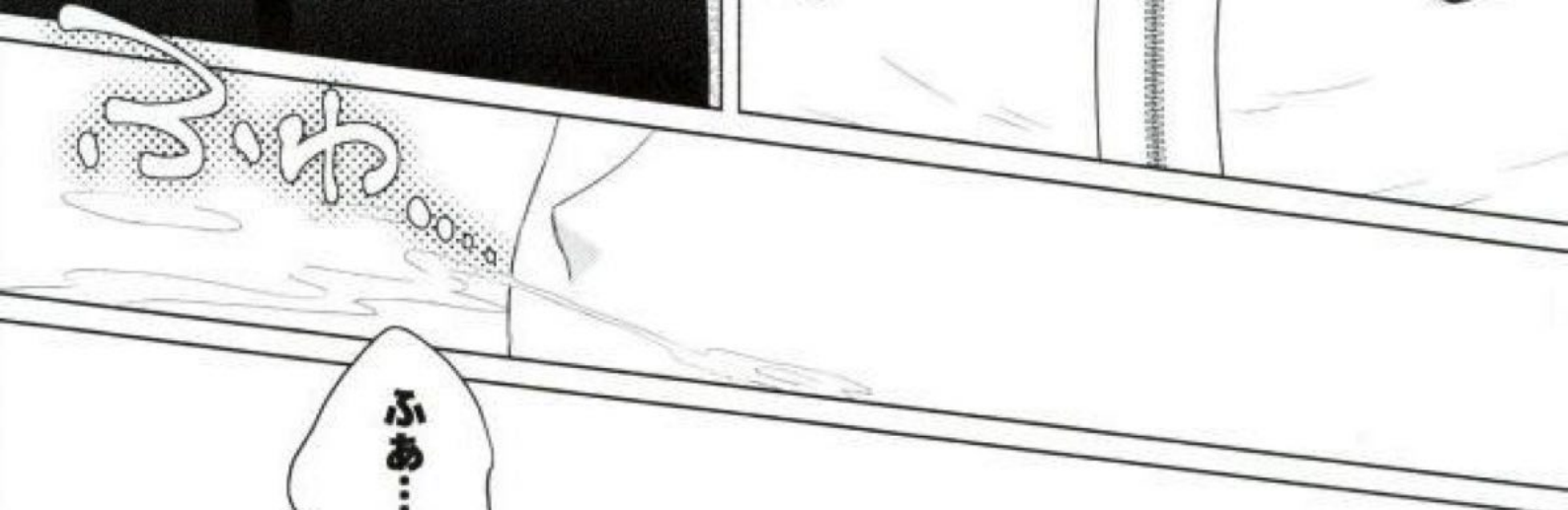


—…



あのさ
ジエノス

俺は
お前みたいに—…



ふき…し



先生!
大丈夫ですか!

だあ...
だあ...

じょ

!

!?

ぶっ



先生...!

?

?

先生...?

ああ…
なるほど…

わかった

原因が
わかりました

やはりあの時近くに
咲いていた花の花粉です

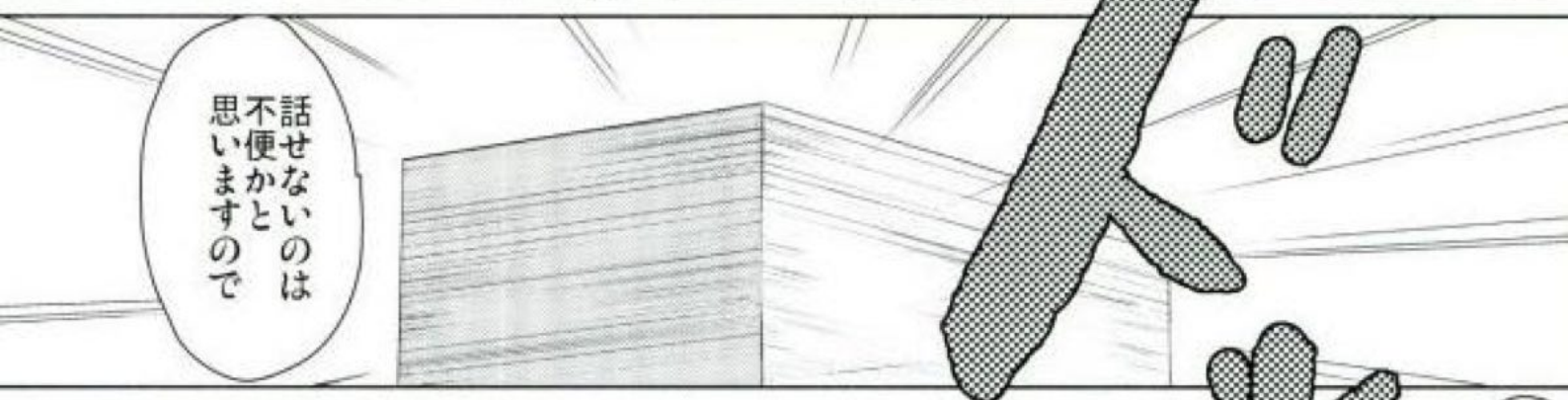
あれは最近
A級ヒーローに倒された
怪人から出た種子が咲いた
ものようです

その花粉を浴びた
対象の動きを止め
麻痺させる効果
があるそうです

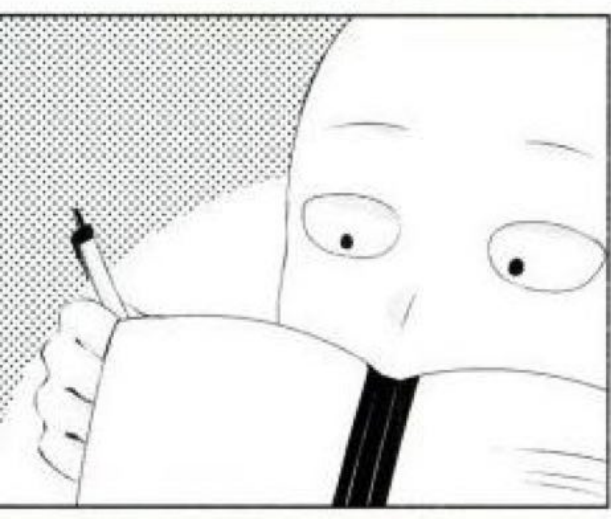


先生はその花粉を
吸い込んでしまった
ことで喉に何らかの
障害が出てしまったの
ようです

辛い数日で
麻痺は解けるとの
報告が上がったので
いるようですので
安心して下さい



話せないのは
不便かと思
いますので



どうぞ

このノートを
筆談用にお使い
ください



先生

めんどいから



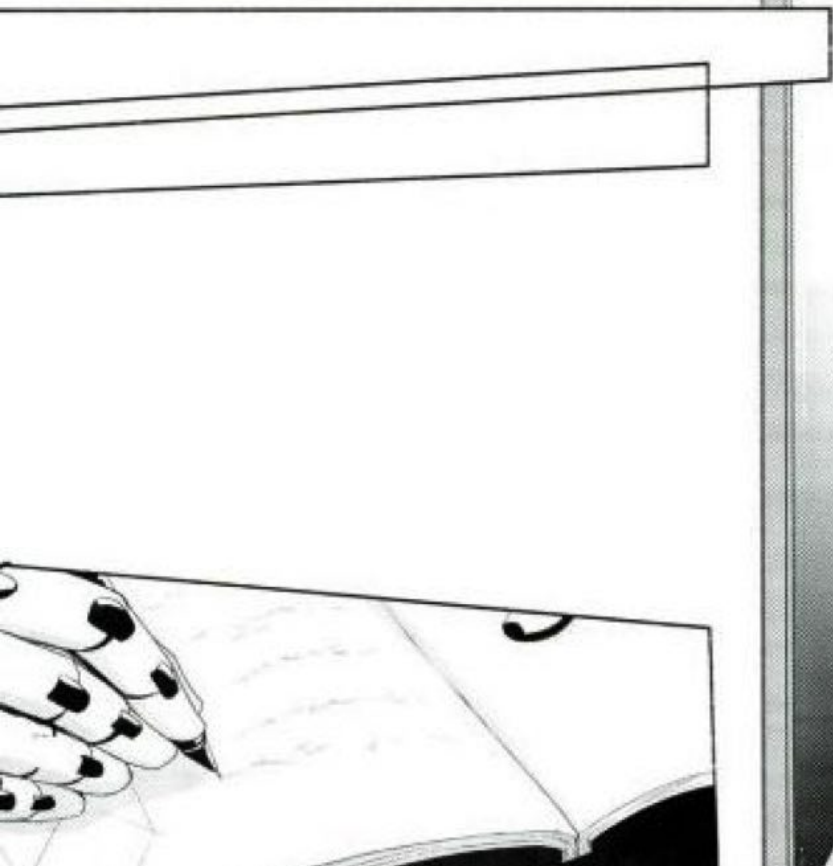
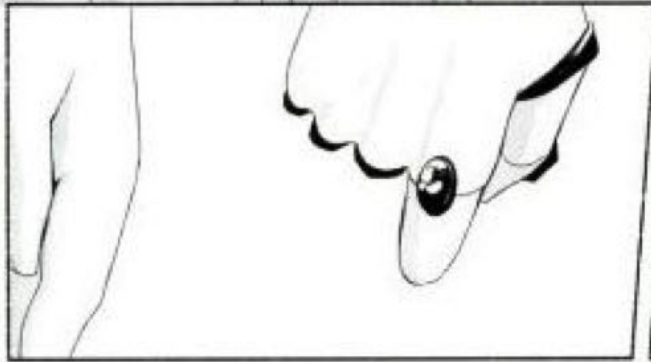
わかりました

.....



風呂に入りますか？

身体にも花粉が
付いているようですし





想いを伝えたことで
掩が緩んでいるのか



声を発せないという
だけで普段より
あどけない感じが
してつい…

さっきは
危なかったな…



あの時の先生の顔に
浮かんでいたのは—

返事を頂く
途中だったが…

だめだ
それは…



嫌悪感のようなもの…

だった気がする









せん...せ...



サイタマ先生...?

え...

そんな...

何故ですか
先生...



ずっと
こうしたかったんです



受け入れて
くれたのではなく

同情...??

それだ...



もう...
止められません



どうか俺の両腕
両足をもぎ取って
止めてください

先生が好きです

好きなんです…

せんせ……

は

は



先生
もう辛くない
ですか？





すみません
先生

あなたがこんな
状況の時に...

でも...
良かったです
先生が気持ち
良さそうで...

ブルブル

ビク

ビク



ああ...

せんせい

声を聴けないのが
残念だ



先生
この映画は
面白い
ですか？

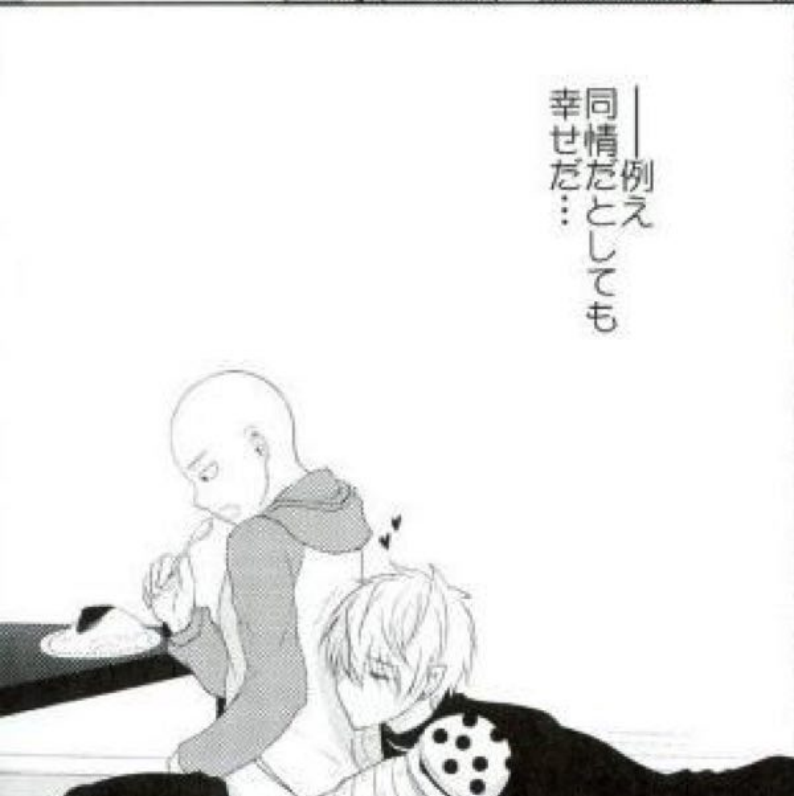
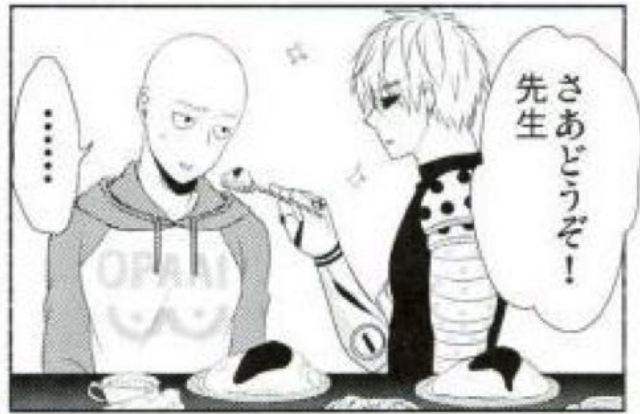
そうですね…



先生それ以上
力を加えると
首のパーツに
損傷を…

すみません
つい…

無防備な
可愛らしい
耳が目の
あつたので





ははは
ははは

ははは

ははは
ははは

Rino

Rino...

せんせ...

動きません

.....

はっ

ははは

ははは

ははは

ははは

ははは

ははは





サイタマ氏？



でなければ

同情だけで
先生がこんな





アレは

俺を安心させようと
していただけなん
ですよ

—それを俺は…

すみません先生

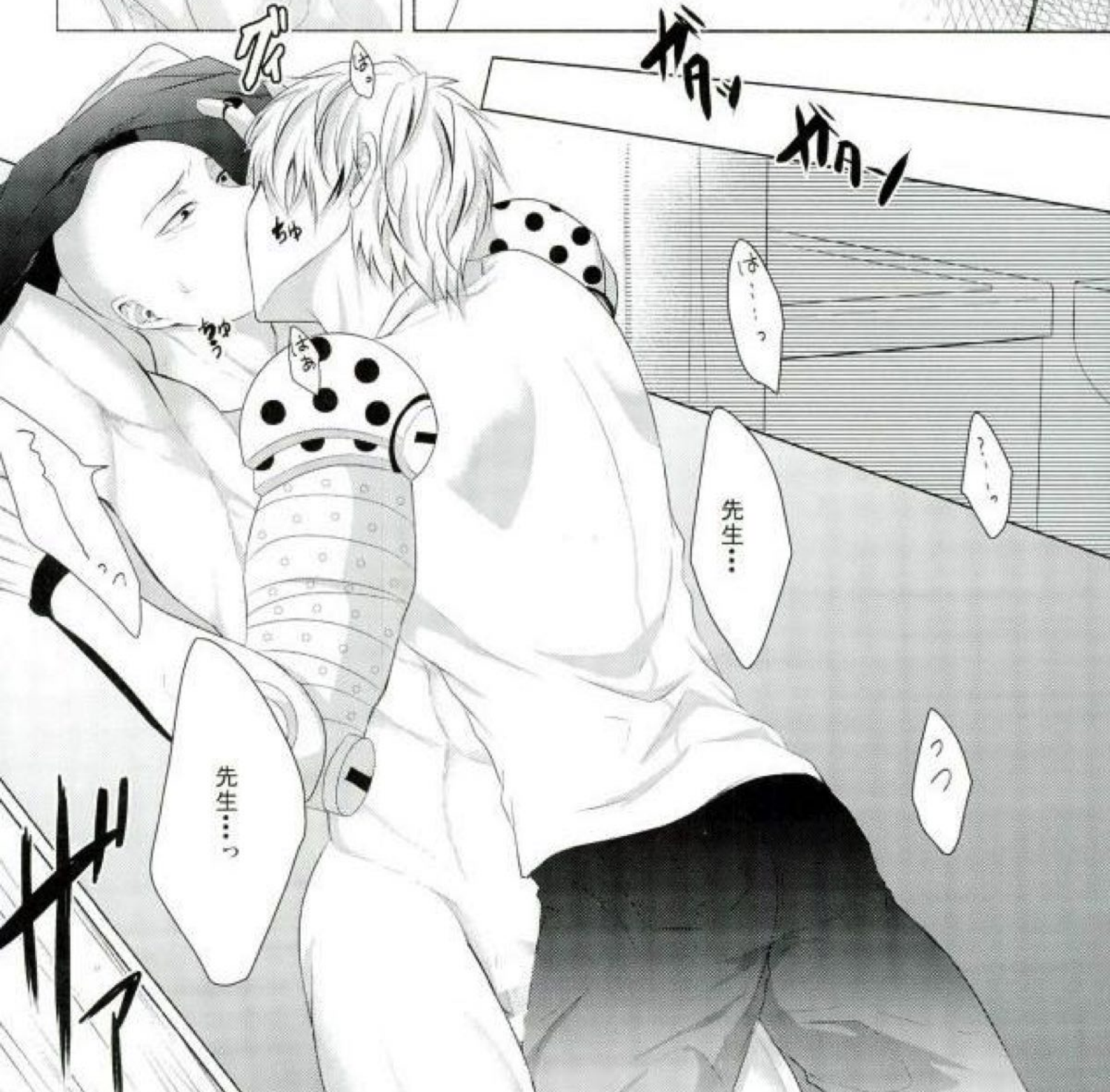




先生はちゃんと拒否
していたのに



自分に都合の
良いように取って...



アッ
アッ

アッ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

先生...

先生...

は...

...

...

すみません先生

声に戻れば
弟子の立場に
戻りますから…

今だけは夢を見させて
ください

……っ

…先生が怒るのは
もったもです

一人で舞い上がって…
恥ずかしいです

頭を切り替える時間が
欲しいんです

…ん……な

先生には少し
不便をお掛けしますが

!?

もうそろそろ声も
戻る頃だと思えます
俺は…明日からしばらく
別の場所で寝泊りします



勝手に自己完結するな
このばか!



先生……!
声が……!

あ……
治ったな

……
ってそうじゃね……

ほんっとお前一人で喋るとろくでもね、方向に行くな!

先生
俺は——

うるせえ!

とりあえず
この間の返事



—俺は

それに
お前のこと

先生がら……

そういう意味で
好きかってのも
ちよつとよく
わからない

お前みたいに感情豊か
じゃねーし
強くなつてからは尚更……

けど

嫌な気はしねーし
出来るだけ応えて
みようと思う

だからゆっくりで
いいなら……

言おうとし
んだけどな

先生……

で…でしたら先生
筆談でも何でも…っ

おまえ…
今言ったのすげー
恥ずかしいんだぞ
それを紙に書けって
しかもお前それ
保存とかしそろう

よくご存知ですね
勿論一生大切に
します！

お前あの後
落ち込んでる
みたいだっから
悪いほうに取っ
らないで思っ
てさ

だから俺そっ
ぢやないぞっ
ちやんと意志表
したんだけど

意思表示という
のは俺の腰に頭を
擦り付け蠢惑的な
笑みを浮かべた
あの…

うん
わかりやすかった
だろ？

はい…いえ…
すみません

まったく
ちよつとは待てよ
俺だって
心の準備とかさあ

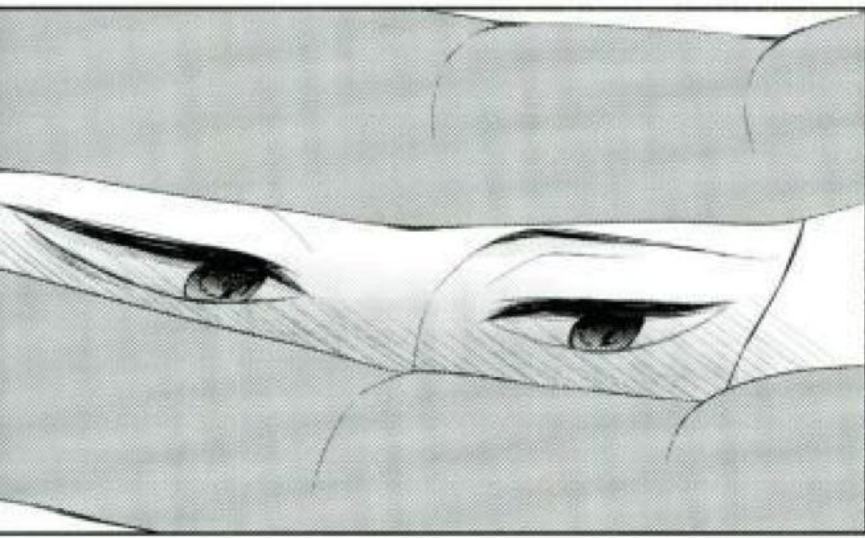
すみません…
嫌でしたよね…

…
本気で嫌だったら
今お前無傷でここ
にいねーよ？

そ…れば



先生…



先生…

何だよ

顔が見たいです

……だめ



サイタマ先生…

しかたねーだろ
ヤツてみたら
嫌どころか気持ちいいし
なんか可愛く見えてくるし

触ってもいいですか

……

……これまで
何も聞かずに
触りまくってた
じゃん

それは…
そうなんです
だからこそ先生に
ちゃんと言って欲
んです



あ

あ



……
触って

アハハ





あ

あ

先生…声が聴きたいです

…だめ

何故ですか

っ

これまで聴かれずに
んでた…のにつ

ク
じゃあ

出させます

何それ…ツッ!?

声が聞けなくても
先生のイイところは
学習しましたから

待って
じえのす…っ

ふっ
ふっ

んんん…
んんん…

んんん…
んんん…

んんん…
んんん…
んんん…

あし

あ
あ

んんん…
んんん…

んんん…

…ツッあ
…ツッあ

は…すかしいんだよ…

んんん…

んんん…
んんん…

んんん…
んんん…

んんん…
んんん…



先生：サイタマ先生
好きです
大好きです

じえろ……っ

はあ

ジェノス……！

ジョ
-1



……っぞ



：ジェノス
俺も：お前のこと
好きだ：から



……っぞ

こうして先生に
俺を呼んで
貰いたかった……っ

……っ



……なんて顔
してるんだよ

すみません…

嬉しすぎて…
どんな顔ですか

どんな…って…



モテそうで
むかつく顔

ちゅっ



あっ

おほ

せと…せと…

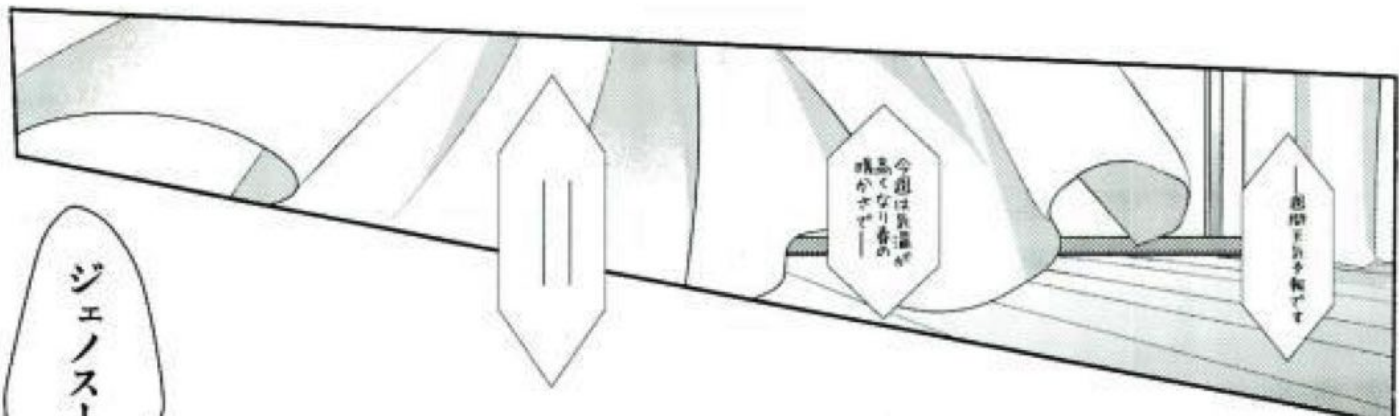
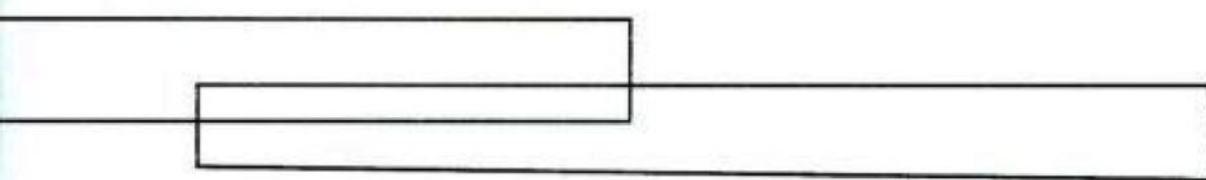
あっ
あっ
あっ

ぬっ
ぬっ
ぬっ
ぬっ

ぬっ

あっ
ぬ





— 悪魔の力を得たのです

今更には異議が
あつたり香が
噴かすぞ—



ジェノス—

そこで寝るなよ
おい

……はあ
ったく

もう春だなあ



